

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【001】	4	p. 242	具体的事実に基づかず頭の中で組み立てられただけのものは科学的ではない		45-A-020
【002】	1	p. 243	自律の尊重は傷病者の自己決定権を尊重することである	必修	45-B-007
【003】	2	p. 243	特定行為の実施は“善行の原則”に従うものである	必修	46-B-005
【004】	1	p. 244	“リスボン宣言”は患者の有する主要な権利を述べたものである	基本	45-A-025
【005】	5	p. 244	インフォームドコンセントが必須な内容は？	基本	44-A-024
【006】	2, 5	p. 245	改正臓器移植法における臓器提供の要件は？		43-A-023
【007】	2	p. 245	糖尿病は臓器提供が可能な併存症である		46-A-024
【008】	4	p. 246	WHO憲章における健康の定義	基本	44-A-017
【009】	2	p. 247	空港検疫は厚生労働省が所管する	難問	47-A-016
【010】	3	p. 247	わが国の高齢者(65歳以上)人口の割合	必修	43-B-004
【011】	2, 3	p. 247	交通事故と脳血管疾患による死亡率は減少傾向である		46-A-018
【012】	5	p. 248	疾病構造の変化で増加傾向にあるものは？	基本	43-A-017
【013】	4	p. 248	訪問看護は介護保険または医療保険が適用される		46-A-016
【014】	5	p. 249	医療計画には“医療従事者の確保”が含まれる		47-A-019
【015】	4	p. 249	急性心筋梗塞は医療計画の5疾病に含まれる	必修	47-B-004
【016】	4	p. 249	医療計画における「5疾病」以外の疾病の選択	基本	43-A-016
【017】	2	p. 250	第7次医療計画における5疾病に“感染症”は含まれない	基本	45-A-022
【018】	2	p. 250	在宅医療には在宅人工呼吸療法が含まれる	必修	45-B-004
【019】	1	p. 251	日本の病床数は欧米先進国と比べて多い	基本	44-A-019
【020】	4	p. 251	医療法で定められていない施設は医療提供施設ではない	必修	44-B-004
【021】	2	p. 252	労働災害で死亡者が最も多いのは墜落・転落である	基本	45-A-016
【022】	4	p. 252	精神科病院への入院形態で家族などの同意が必要なものは？	基本	44-A-016
【023】	3	p. 252	患者本人の同意が必要な入院形態は“任意入院”である	必修	46-B-004
【024】	3	p. 253	年金は社会保障の給付額が最も多い		47-A-018
【025】	3	p. 253	生活保護における医療扶助は国民医療費に含まれる		46-A-017
【026】	2	p. 254	国民医療費に含まれる費用は？		43-A-018
【027】	3	p. 254	後期高齢者の一部負担金は1割である	基本	44-A-018
【028】	1	p. 255	自営業者は国民健康保険の被保険者である		47-A-017
【029】	2	p. 255	介護支援専門員は「ケアマネジメント」を担う専門職である	基本	45-A-019
【030】	4	p. 256	自立支援医療は公費負担医療制度に含まれる		46-A-019
【031】	2	p. 256	児童虐待で最も多い加害者は？		43-A-019
【032】	4	p. 257	「老健」は常勤医師の配置が義務付けられている	基本	45-A-018
【033】	5	p. 257	生活保護制度は「憲法第25条第1項：国民の生存権」に基づく	基本	45-A-017
【034】	5	p. 259	血清は血漿から凝固因子の大部分が除かれたもの	基本	44-A-001
【035】	3	p. 260	成人の体液の内訳と体重に対する比率	頻出	43-A-002
【036】	4	p. 260	細胞内液に最も多く含まれる陽イオンは？	必修	44-B-001
【037】	5	p. 261	副腎皮質から分泌されるアルドステロンは体液調節に関与する		47-A-001
【038】	1	p. 261	解剖学的基本体位(解剖学的正位)は人体を扱う場合の基準の姿勢である	基本	43-A-003
【039】	2	p. 262	関節運動の名称を正しく表現する	基本	44-A-010
【040】	3	p. 262	爪先が外側を向く股関節の運動は外旋である		46-A-006
【041】	1	p. 263	外転は前頭面上を正中矢状面から遠ざける運動である		47-A-009
【042】	1	p. 264	剣状突起が含まれる骨	必修	43-B-002
【043】	4	p. 264	頸部前方三角は正中線、下顎下縁、胸鎖乳突筋前縁で囲まれた部分をいう		46-A-098
【044】	3	p. 265	前頸三角の一部の凹部では総頸動脈が触知できる	基本	45-A-004
【045】	1	p. 265	心窩部の領域にある臓器	必修	44-B-002
【046】	4	p. 266	外果は腓骨の外側下端部分で足関節を構成する		46-A-002
【047】	5	p. 266	頤(オトガイ)は下顎の中央前方の隆起である	必修	46-B-002
【048】	5	p. 267	後腹膜に位置する臓器	必修	43-B-001
【049】	1	p. 267	海馬は大脳辺縁系の一部である		46-A-007
【050】	2	p. 268	内包は神経線維の束で、脳のさまざまな部分を結ぶ経路である		47-A-007

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【051】	2	p. 268	顔面の感覚を伝える脳神経は三叉神経である	基本	44-A-006
【052】	3	p. 269	交感神経の興奮により瞳孔散大筋が収縮する		46-A-001
【053】	5	p. 270	外転神経は外直筋を支配し眼球を外転させる		47-A-006
【054】	5	p. 271	脳神経と機能の組合せ	基本	43-A-004
【055】	1	p. 271	デルマトームは脊髄神経が支配している皮膚感覚の領域を模式図化	基本	45-A-003
【056】	2	p. 272	急性緑内障発作は房水の流れが遮断されることで起こる	基本	45-A-009
【057】	4	p. 272	視覚経路の順序は？	基本	43-A-005
【058】	4	p. 273	平衡感覚器は内耳にある三半規管と前庭である	基本	44-A-009
【059】	3	p. 273	胸腔内圧は吸気時により陰圧になる	必修	45-B-002
【060】	3	p. 274	声帯は喉頭の内部にある		46-A-010
【061】	2	p. 274	上気道は、鼻腔、咽頭、喉頭から構成される		47-A-003
【062】	5	p. 275	嚥下時に喉頭蓋が気管入口部に密着して気管を閉鎖し気道への誤嚥…		47-A-005
【063】	2	p. 275	横隔神経の麻痺は上位頸髄損傷で起こる	基本	44-A-008
【064】	5	p. 276	吸気筋の補助筋として胸鎖乳突筋が使われる	基本	45-A-008
【065】	1	p. 277	酸素解離曲線はPaO ₂ 値とSO ₂ 値(SpO ₂ 値)の関係を示している	基本	44-A-030
【066】	2	p. 278	全血液量における静脈血の割合	基本	43-A-009
【067】	3	p. 278	静脈血は肺動脈を介して肺に送られる	必修	45-B-001
【068】	4	p. 278	体表から触知可能な動脈は？	基本	44-A-002
【069】	4	p. 279	大動脈弁は左心室の出口にある		47-A-002
【070】	5	p. 279	プルキンエ線維は心室筋全体に分布する伝導ネットワーク	基本	45-A-002
【071】	3	p. 279	左右の冠動脈の起始部は上行大動脈起始部にある	必修	47-B-001
【072】	1	p. 280	臍静脈は胎盤から胎児の臍を経て、胎児へ血液を送る静脈である		46-A-003
【073】	3	p. 281	食道の構造およびその位置	基本	43-A-007
【074】	4	p. 281	胃は食道と噴門でつながっている		46-A-005
【075】	4	p. 282	十二指腸と空腸の境界は？	基本	44-A-003
【076】	3	p. 282	虫垂は盲腸の下端に付属する突起物である	基本	45-A-007
【077】	3	p. 283	腎臓の位置と構造	基本	44-A-004
【078】	1	p. 283	尿の生成過程ではじめに濾過を行う場所は糸球体である	基本	45-A-005
【079】	3	p. 284	最終月経初日を妊娠0週0日として、妊娠週数を算出する	基本	44-A-086
【080】	3	p. 284	内分泌系の特徴で誤っているものは？	基本	43-A-010
【081】	3	p. 285	バソプレシンは循環血液量を増加させる作用がある		46-A-008
【082】	5	p. 286	テストステロンは男性の二次性徴を促す		47-A-010
【083】	2, 4	p. 286	核のない血球成分は？		43-A-008
【084】	2, 4	p. 287	赤血球と血小板は核を有さない		47-A-004
【085】	4	p. 287	海綿骨は加齢や閉経により最初に減少する部分である		46-A-004
【086】	2, 5	p. 288	関節の形状	基本	43-A-001
【087】	2	p. 288	後縦靭帯は脊柱管の前壁を縦走する靭帯である	基本	45-A-006
【088】	2	p. 288	脊柱の生理的彎曲は頸椎から仙骨部まで前→後→前→後と彎曲している	基本	44-A-007
【089】	5	p. 289	ミネラルに該当する元素は？	基本	43-A-006
【090】	3	p. 289	成人の基礎代謝量において中枢神経が消費する割合は？	基本	44-A-005
【091】	3	p. 289	酸素分圧は細胞に到達するプロセスで低下していく	基本	45-A-001
【092】	3	p. 290	ミトコンドリア内では酸素を用いてATPを生産する	必修	46-B-001
【093】	5	p. 290	ミトコンドリアは酸素を用いたエネルギー産生に関与する	必修	47-B-002
【094】	3	p. 290	エネルギーを使って身体の構成成分とすることを同化という		47-A-008
【095】	3, 4	p. 291	体液のpHは「ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式」で規定される	基本	45-A-010
【096】	4	p. 291	動脈血のpHは7.35～7.45の間で調整される		46-A-009
【097】	1	p. 292	血友病はX連鎖劣性遺伝病に該当する	難問	47-A-012
【098】	5	p. 293	つりあがった眼瞼はダウン症の身体的特徴の1つである		47-A-011
【099】	4	p. 293	急性疾患と慢性疾患の区別	必修	43-B-003
【100】	2	p. 294	慢性疾患に分類されるのは？	基本	44-A-015

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【101】	4	p. 295	急性疾患に分類されるのは？	必修	45-B-003
【102】	4	p. 295	脳卒中は急激に発症して重症化する脳血管障害である	必修	47-B-003
【103】	1	p. 296	糖尿病の3大合併症		43-A-012
【104】	5	p. 296	三次予防はリハビリテーションなど疾病からの社会復帰を支援する医療行為…	基本	45-A-015
【105】	2, 4	p. 296	一次予防は疾患予防や健康増進を行うことで原因の排除やリスク低減を図る…		46-A-014
【106】	2	p. 297	退行性病変に該当する形態的または機能的変化		43-A-014
【107】	5	p. 297	アポトーシスとは“プログラムされた細胞死”である	基本	45-A-012
【108】	3	p. 298	尿酸結晶は内因性炎症を起こす原因の1つである		47-A-013
【109】	4	p. 298	炎症の急性期は微小循環系の変化と細胞反応からなる	基本	44-A-011
【110】	3	p. 299	好中球を中心とした白血球は炎症部位に遊走する	基本	45-A-011
【111】	3	p. 299	ウイルスは細胞に感染することで自己増殖(複製)をする		46-A-012
【112】	1	p. 300	緑膿菌はグラム陰性菌であり内毒素を有する		47-A-015
【113】	5	p. 300	狂牛病はプリオン病の一種である	基本	45-A-014
【114】	3	p. 301	垂直感染の感染様式	基本	43-A-015
【115】	2	p. 301	結核、麻疹、水痘は空気感染を起こす代表的な感染症	基本	44-A-012
【116】	1	p. 302	心臓ポンプ機能の低下で毛細血管内圧が上昇して浮腫を生じる	基本	44-A-013
【117】	2	p. 303	ビタミンC欠乏により血管が脆弱になり出血を引き起こす		46-A-015
【118】	1	p. 303	二次治癒では組織の欠損部分に肉芽組織が形成される		46-A-013
【119】	2, 5	p. 304	死後2時間でみられる死体現象	頻出	43-A-011
【120】	2	p. 304	死後硬直は顎関節から出現しはじめることが多い	基本	45-A-013
【121】	3	p. 304	死後、循環が停止したことで血液は重力に従って下方に溜まる	必修	44-B-003
【122】	5	p. 305	明らかな死亡の判断基準で6項目すべてが該当する場合	基本	44-A-014
【123】	4	p. 305	老衰は「病死および自然死」に分類される		46-A-011
【124】	1	p. 306	検視は犯罪の疑いがあるか判断する刑事手続きである		47-A-014
【125】	3	p. 307	アドレナリンは劇薬である	必修	47-B-018
【126】	2	p. 308	安全域が最も狭い薬物は“毒薬”である		45-A-044
【127】	3	p. 308	アドレナリンの薬理作用(α 受容体, β 受容体)	必修	43-B-018
【128】	5	p. 309	重篤なアナフィラキシーに対してはエピペン®投与が絶対適応である	基本	44-A-079
【129】	4	p. 310	乳酸リンゲル液は細胞外液の補給・補正を目的に用いる	必修	45-B-018
【130】	4	p. 310	乳酸リンゲル液に最も含まれている電解質は細胞外液に最も多い電…	必修	46-B-018
【131】	1	p. 311	生理学的検査は直接検査機器を装着することでデータを収集する検査	基本	45-A-045
【132】	4	p. 311	パニック値に該当する検査値		43-A-044
【133】	2	p. 312	MRIは脳梗塞の超早期から診断が可能	基本	44-A-045
【134】	5	p. 312	12誘導心電図の伝送によりカテーテル検査の開始時間が短縮できる		47-A-034
【135】	3	p. 314	傷病者の搬送および受け入れ実施基準を策定する協議会は“都道府県”に設…	基本	45-A-021
【136】	1	p. 314	ドクターヘリは救急現場に迅速に医師等を派遣し、早期に治療を……	必修	47-B-005
【137】	4	p. 315	COVID-19への対応では人工呼吸を行わない	基本	45-A-030
【138】	4	p. 315	救命の連鎖における要素の理解	必修	43-B-005
【139】	1	p. 316	救急自動車による救急搬送人員の統計		43-A-021
【140】	3 or 4	p. 316	令和4年の救急自動車の平均現場到着所要時間は10.3分と延伸傾向である		47-A-022
【141】	4	p. 317	「救急病院を定める省令」にある救急病院の要件とは？	基本	44-A-025
【142】	3	p. 317	救急告示病院の認定は“都道府県知事”が行う		46-A-021
【143】	5	p. 317	特定行為はオンラインメディカルコントロールによる具体的指示が必要	基本	44-A-020
【144】	3	p. 318	搬送先医療機関選定の助言は直接的MCに該当する		46-A-020
【145】	3, 4	p. 318	プロトコールとは？	基本	43-A-022
【146】	3	p. 319	MCのコア業務の1つである“事後検証”はPDCAサイクルの“C”に該当…		47-A-026
【147】	4	p. 319	MC協議会は消防機関が行う救急業務を医学的に保証するものである	基本	45-A-026
【148】	2	p. 320	多数傷病者対応における先着隊の役割	必修	43-B-027
【149】	2	p. 320	災害初動時に最先着救急隊が報告すべき情報はMETHANE	基本	44-A-026
【150】	4	p. 321	一次トリアージで確認する項目は？	必修	43-B-006

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【151】	4	p. 321	一次トリアージでは簡便な生理学的評価により傷病者をふるい分ける	必修	44-B-005
【152】	5	p. 322	気道開放しても自発呼吸停止の場合は“黒”と判定する	必修	47-B-006
【153】	4	p. 322	収縮期血圧90mmHg未満は緊急治療群に該当する	必修	46-B-007
【154】	2	p. 323	SCUは広域搬送拠点に設置し、被災者傷病者の症状安定化や広域搬送……		47-A-023
【155】	2	p. 324	ゾーニングは風向きを考慮して設定する		46-A-044
【156】	2	p. 324	通信指令員による心肺蘇生法の口頭指導	必修	43-B-008
【157】	4	p. 324	現場活動の流れ(状況評価から救護活動まで)	基本	43-A-027
【158】	3	p. 325	二次災害の危険が高い現場では安全管理体制を確立して活動する	必修	45-B-009
【159】	1	p. 325	初期評価ではABCDの判断をおおまかに行う	必修	46-B-016
【160】	3	p. 326	救急救命処置録には指示を受けた医師の氏名を記載する必要がある		46-A-022
【161】	3	p. 326	ウツタイン様式は心肺停止傷病者の記録のために国際的に統一された統計基準	必修	45-B-005
【162】	2	p. 327	傷病者への尊厳をもちつつ対象に応じたコミュニケーションを図る		46-A-092
【163】	5	p. 327	おもちゃへの興味の示し方でも小児の意識状態を把握できる	基本	45-A-024
【164】	3	p. 328	パターンリズムはICの概念に反する		47-A-025
【165】	4	p. 328	ACPは本人の意思決定を支援する取り組みである		47-A-020
【166】	3	p. 329	DNARの生前意思が提示される傷病者の背景は？	必修	44-B-006
【167】	5	p. 329	救急救命士に関連する法的規定	基本	43-A-024
【168】	5	p. 330	救急救命処置は「救急救命士法 第2条」で定義される		46-A-026
【169】	5	p. 331	包括的指示により行うことができる救急救命処置は？	必修	43-B-013
【170】	4	p. 331	声門上気道デバイスは呼吸機能停止傷病者に使用可能である		46-A-042
【171】	1	p. 333	ブドウ糖溶液の投与は“特定行為”に該当する	必修	46-B-006
【172】	2, 5	p. 334	救急救命士法に定められている「欠格事由」		43-A-025
【173】	5	p. 335	人口10万人を超える市町村は救急自動車を5台、10万人を超えた……		47-A-021
【174】	2	p. 335	救急救命士の病院実習の主な目的でないのは？		43-A-020
【175】	4	p. 336	救急活動における事故の再発防止策はシステムアプローチである		47-A-024
【176】	4	p. 336	ハインリッヒの法則は「1：29：300の法則」とも言われる	必修	44-B-007
【177】	1	p. 337	医療事故と医療過誤の違いは“医療者の過失の有無”である	基本	44-A-023
【178】	2, 4	p. 337	標準予防策の骨格	基本	43-A-026
【179】	1	p. 337	空気感染が疑われる場合はN95マスクを装着する		47-A-096
【180】	1	p. 338	空気感染を起こす微生物の選択	必修	43-B-007
【181】	2	p. 338	陰圧個室は主に空気感染力が高い疾患の治療室として使用される	必修	46-B-003
【182】	5	p. 338	飛沫感染が疑われる場合にはサージカルマスクを着用する		46-A-025
【183】	3	p. 339	安全装置付き静脈留置針は針刺し事故防止策として有用	必修	45-B-006
【184】	1	p. 339	惨事ストレスによる反応で躁症状は生じにくい		45-A-023
【185】	1	p. 340	デフュージングは惨事ストレスに伴うストレス発散を目的に曝露後早期に行う	基本	44-A-022
【186】	1	p. 340	デフュージングは悲惨な事故や災害に対応した直後に行う		46-A-023
【187】	4	p. 342	バイタルサインの適切な評価方法は？	基本	44-A-035
【188】	4	p. 342	救急現場活動で聴取する現病歴の理解	必修	43-B-015
【189】	2	p. 343	打診により鼓音・濁音などが聴取できる	必修	44-B-011
【190】	2	p. 343	胸部の打診で濁音を呈した場合は血胸または胸水貯留を疑う		47-A-027
【191】	3	p. 344	傷病者観察における第一印象とは？	基本	44-A-021
【192】	3	p. 344	外見の観察で尿失禁を認めた場合は一過性の意識消失があったことを疑う		47-A-028
【193】	5	p. 345	上気道閉塞時に特徴的な呼吸所見	必修	43-B-012
【194】	2	p. 345	上気道閉塞は陥没呼吸が特徴である	必修	45-B-015
【195】	1	p. 346	異常な呼吸様式をきたす原因病態		43-A-050
【196】	2	p. 347	口すばめ呼吸を特徴とする病態は？		43-A-032
【197】	4	p. 347	死戦期呼吸は心停止の直前または直後にみられる	必修	44-B-017
【198】	3	p. 347	上気道閉塞により陥没呼吸がみられる	必修	46-B-011
【199】	2	p. 348	頸髄損傷では胸壁の呼吸筋麻痺のため横隔膜だけによる腹式呼吸を…		47-A-053
【200】	2	p. 348	大孔ヘルニア—延髄への圧迫—失調性呼吸の流れを理解する	基本	44-A-037

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【201】	1	p. 349	奇異呼吸は胸壁の一部が周囲と連続性を失った場合にみられる		46-A-027
【202】	4	p. 349	呼吸期と無呼吸期が交互に繰り返される病的な呼吸様式はチェーン・ストーク…		46-A-029
【203】	4	p. 349	年齢区分に合わせた心停止を判断する脈拍触知部位	基本	44-A-042
【204】	1	p. 350	総頸動脈の触知は成人の心停止の判断に用いられる	必修	47-B-012
【205】	5	p. 350	血圧の左右差を認めた場合は“急性大動脈解離”を疑う	必修	47-B-016
【206】	2	p. 351	除脳肢位の傷病者の運動による最良の応答 (M) は？	基本	43-A-035
【207】	2	p. 351	除脳硬直の GCS スコアは何点か？	基本	45-A-031
【208】	3	p. 352	皮膚の観察所見と疾患・病態の関連についての設問は国試に必出する	基本	44-A-084
【209】	3	p. 353	蕁麻疹の特徴は？	基本	44-A-032
【210】	2	p. 353	瞳孔反応の機序と瞳孔所見の大切さ	難問	43-A-033
【211】	5	p. 354	メタンフェタミンは交感神経刺激作用を有する	基本	45-A-037
【212】	1	p. 355	眼瞼結膜の点状出血は溢血斑であり外傷性窒息の典型的症候の1つ	基本	46-A-099
【213】	5	p. 355	パンダの眼徴候は前頭蓋底骨折特有の所見である	基本	45-A-036
【214】	2	p. 355	頸静脈は胸腔内圧や大静脈圧の影響を受けやすい		47-A-029
【215】	2	p. 356	陥没呼吸は上気道狭窄を示唆する重症度が高い観察所見である		47-A-030
【216】	2, 5	p. 356	心音, 呼吸音, 腸雑音, コロトコフ音の観察は聴診器を用いる		46-A-039
【217】	4	p. 357	ばち指は気管支拡張症・間質性肺炎・肺癌の症候として記憶する		44-A-073
【218】	1	p. 357	パレー徴候では麻痺側の upper limb は回内して次第に落ちてくる	基本	45-A-062
【219】	1	p. 358	大脳半球に生じた病変は脳卒中スケールで確認することができる	基本	46-A-069
【220】	4	p. 359	現場トリアージではアンダートリアージの回避に重点を置く		47-A-042
【221】	5	p. 359	緊急度判定プロトコルには“黒”はない	基本	44-A-034
【222】	5	p. 360	上気道閉塞は生理学的評価で“ロードアンドゴー”に該当する	基本	45-A-027
【223】	5	p. 361	現場トリアージの原則はアンダートリアージ率を低く抑えること	基本	45-A-029
【224】	4	p. 362	過度なオーバートリアージは高次医療機関の人的資源・医療物資の有効活用…		46-A-043
【225】	2	p. 362	パルスオキシメータは“経皮的動脈血酸素飽和度”を測定する機器である	必修	46-B-012
【226】	5	p. 363	パルスオキシメータの脈波は動脈血の吸光度の変動成分である		43-A-043
【227】	5	p. 363	SpO ₂ 値の測定が困難になる病態	必修	43-B-016
【228】	1	p. 363	パルスオキシメータの測定原理を理解する	基本	44-A-070
【229】	1	p. 364	パルスオキシメータの波形から考えられる不整脈の読み取り	必修	44-B-013
【230】	5	p. 365	低灌流部位での測定や異常ヘモグロビンの影響は酸素飽和度の測定困難…	必修	47-B-008
【231】	5	p. 365	SpO ₂ 値は血中ヘモグロビンの吸光度に影響を受ける	基本	45-A-042
【232】	3	p. 365	正常なカプノグラムの呼気相	基本	43-A-041
【233】	5	p. 366	カプノメータは ROSC の検知に活用できる	必修	44-B-010
【234】	5	p. 367	PETCO ₂ は胸骨圧迫の効率を反映する	基本	45-A-034
【235】	1	p. 367	PETCO ₂ は胸骨圧迫の効率を反映する		46-A-040
【236】	2	p. 368	カプノメータで測定した PETCO ₂ は胸骨圧迫の効率を反映する	必修	47-B-013
【237】	3	p. 368	カプノグラムで二酸化炭素分圧が最も高くなるのは呼気終末である	必修	45-B-016
【238】	1	p. 369	ベル面は低調音の音を聴くのに適する		46-A-030
【239】	3	p. 369	ダイヤフラム面は高音音の聴取に適する		47-A-036
【240】	4	p. 370	外耳道の開口方向とイヤピースの方向を合わせる	基本	45-A-035
【241】	2	p. 370	聴診器のベル面は何の音を聴取するのに適しているか？	基本	44-A-031
【242】	2	p. 371	呼吸音の左右差を確認するためには両腋窩部を聴診する	必修	46-B-014
【243】	5	p. 371	オシロメトリック法は動脈壁の振動をセンサーでとらえる測定方法である		46-A-032
【244】	4	p. 372	触診法は聴診法と比べて低く測定されることが多い	必修	45-B-008
【245】	3	p. 372	緊急走行中車内など騒音の大きな場所での血圧測定では触診法を用いる	必修	47-B-017
【246】	5	p. 372	基線の変動は電気抵抗が高くなって生じやすい	基本	45-A-038
【247】	4	p. 373	心電図モニター誘導	必修	43-B-009
【248】	4	p. 373	標準単極胸部誘導で第5肋間鎖骨中線に装着する電極は？	基本	44-A-033
【249】	2	p. 373	近似肢誘導で最も不整脈を見つけやすいのはII誘導である		47-A-035
【250】	2	p. 374	基線の小刻みな揺れは交流障害が傷病者の筋電図混入が原因である		46-A-036

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【251】	5	p. 374	実測式は予測式と比べて測定時間が長いが正確な体温が表示される	基本	45-A-039
【252】	3, 5	p. 374	鼓膜体温計の測定原理と測定における注意点	基本	43-A-039
【253】	5	p. 375	保管場所の湿度は鼓膜体温計の測定原理を妨げるものではない		46-A-038
【254】	3	p. 375	血糖測定に影響を与える因子に環境温度がある	基本	45-A-040
【255】	3	p. 375	血糖測定の適応はJCSⅡ桁以上を目安とする	必修	44-B-009
【256】	5	p. 376	穿刺後に十分な血液が得られない場合の対応	頻出	43-A-042
【257】	2	p. 376	血糖測定を行う際のアルコール消毒で注意すべき点	基本	44-A-029
【258】	3	p. 377	一度使用した針は再使用せず新しい穿刺針を使用する	必修	46-B-013
【259】	2	p. 377	各種気道確保器具の合併症で誤っているのは？	基本	43-A-038
【260】	5	p. 377	トリプルエアウェイマニューバーは開口・下顎挙上・頭部後屈を併…	基本	45-A-043
【261】	2	p. 378	経鼻エアウェイの適応	必修	43-B-011
【262】	2	p. 378	抗凝固薬を服用している場合は出血させると止血困難になる	必修	46-B-015
【263】	1	p. 378	意識のない気道異物の傷病者に対しては直ちに胸骨圧迫を行う	必修	44-B-015
【264】	5	p. 379	異物による上気道閉塞をきたした傷病者に対して最初に行うべき対応は？		43-A-116
【265】	5	p. 379	口腔内吸引の際、カテーテルをゆっくり引き抜きながら吸引する	必修	47-B-014
【266】	5	p. 379	ラリングアルマスク(LM)による気道確保は特定行為である	必修	47-B-015
【267】	3	p. 380	成人女性に対する気管内チューブの標準サイズは7.0である	必修	45-B-013
【268】	1	p. 380	喉頭展開時に視認できる解剖学的構造	難問	43-A-037
【269】	5	p. 380	気管挿管のために喉頭鏡のブレード先端はどこに挿入するか？	必修	44-B-008
【270】	2	p. 381	救急救命士が気管挿管を試みるのはコーマックグレードⅠに限る	必修	46-B-017
【271】	3	p. 381	ビデオ硬性喉頭鏡を用いた気管挿管の適応は？	基本	44-A-041
【272】	5	p. 382	新型コロナウイルス感染症で酸素投与が必要なのは“中等症Ⅱ”である	基本	45-A-033
【273】	2	p. 382	酸素ポンペの使用可能時間は酸素残量を酸素流量で割る	基本	45-A-028
【274】	4	p. 383	吸入酸素濃度を100%にできる酸素投与法は？	基本	43-A-028
【275】	4	p. 383	リザーバ付きフェイスマスクは高濃度の酸素供給が可能である	基本	44-A-038
【276】	3	p. 384	デマンドバルブは傷病者の吸気努力により100%酸素濃度を供給できる	必修	45-B-014
【277】	3	p. 384	過剰な換気は胸腔内圧を上昇させる	必修	45-B-012
【278】	2	p. 385	「JRC蘇生ガイドライン2020」に準拠した胸骨圧迫	基本	43-A-030
【279】	3	p. 385	成人と乳児で共通している一次救命処置は？	必修	44-B-012
【280】	2	p. 386	救急救命士がモニター波形でVF/VTを疑ったときは自動解析を行う		47-A-043
【281】	4	p. 386	VF/無脈性VTは電気ショックの適応である	必修	46-B-010
【282】	4	p. 387	救急救命士が行う心肺蘇生法	頻出	43-A-029
【283】	1	p. 387	ショック輸液の適応でない病態	基本	43-A-054
【284】	5	p. 388	アドレナリン投与の適応	基本	43-A-036
【285】	3	p. 388	アドレナリンを速やかに全身分布させる方法は？	必修	44-B-014
【286】	4	p. 389	救急救命士が行うブドウ糖溶液投与は“特定行為”である		46-A-034
【287】	1	p. 389	「血糖測定及び低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」標準プロトコール	必修	43-B-017
【288】	5	p. 390	救急救命士が投与するブドウ糖溶液の濃度は？	必修	44-B-018
【289】	4	p. 390	体位管理の目的に体温調節は含まれない		47-A-041
【290】	5	p. 390	膝屈曲位は腹壁の緊張を緩和することを目的とした体位である	必修	46-B-008
【291】	1	p. 391	膝屈曲位は腹壁の緊張を緩和する	必修	45-B-011
【292】	5	p. 391	足側高位(ショック体位)を行うべき病態	必修	43-B-010
【293】	3	p. 392	ターニケットによる止血処置のポイント	基本	44-A-043
【294】	3	p. 392	ターニケットは出血部位の中枢側にバンドを巻く		47-A-031
【295】	3	p. 393	切断指趾の取扱いは頻出である	基本	44-A-040
【296】	2	p. 393	SMRはすべての外傷傷病者に対して行われる処置ではない		46-A-033
【297】	5	p. 394	スクープストレッチャーはログロールを行うことなく骨盤骨折の傷病者を固定…		46-A-041
【298】	2	p. 394	バックボード収容後はまず下肢・腰部・胸部をベルトで固定する		47-A-033
【299】	4	p. 395	目的のある体動が出現した場合はROSCしたと判断する	必修	47-B-010
【300】	2, 4	p. 395	成人に対する適切なCPRを行うための重要なポイントは？	基本	44-A-039

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【301】	2	p. 396	CPR中に目的のある仕草を認めたら胸骨圧迫を中止する	必修	46-B-009
【302】	3	p. 396	胸骨圧迫部位は全年齢共通で胸骨の下半分である		46-A-037
【303】	4	p. 397	小児傷病者に対する2人法の一次救命処置	基本	45-A-041
【304】	3	p. 397	心電図解析の間隔は年齢は関係なく2分おきである		47-A-032
【305】	4	p. 398	救助者が2人の場合は胸郭包み込み両母指圧迫法を行う		47-A-038
【306】	4	p. 398	救急救命士が行う小児の心肺蘇生法	基本	43-A-034
【307】	5	p. 399	乳児に対する2人法のCPRは15対2で行う	必修	45-B-010
【308】	2	p. 399	在宅酸素療法で使用する酸素濃縮器の取扱いの理解	基本	44-A-027
【309】	3	p. 400	在宅酸素療法を行っている傷病者の至適SpO ₂ 値は90%	必修	44-B-016
【310】	3	p. 400	状態が安定しているCOPD傷病者への酸素投与はSpO ₂ 値90%を…	必修	47-B-009
【311】	4	p. 401	中心静脈カテーテルの抜去事故では“空気塞栓症”が発生する可能性が…	必修	47-B-007
【312】	5	p. 401	慢性腎不全患者の呼吸困難の原因で最も可能性の高いものは？	必修	43-B-014
【313】	1	p. 402	傷病者の移乗を前提としたボディメカニクスの基本姿勢	基本	44-A-028
【314】	5	p. 402	ボディメカニクスは救助者の身体的負担を軽減するための技術	必修	45-B-017
【315】	4	p. 403	組手搬送では救助者同士の手首を把持しあって組手をつくる		47-A-039
【316】	5	p. 403	ドクターヘリコプターによる傷病者搬送の注意点		43-A-040
【317】	1	p. 404	ヘリコプターの機体に近づくときはテールローター周辺には近づかない		45-A-032
【318】	5	p. 406	循環血流量減少性ショックでは循環障害による末梢性チアノーゼが…		47-A-052
【319】	5	p. 407	PaCO ₂ 値の上昇が酸塩基平衡異常をきたす仕組みを理解せよ		44-A-046
【320】	5	p. 408	呼吸運動を障害する原因部位		43-A-047
【321】	3	p. 409	頸髄損傷による呼吸運動の障害は肺泡低換気による低酸素血症をきたす	頻出	44-A-091
【322】	1	p. 410	無気肺は肺内シャントによる低酸素血症の原因となる	頻出	45-A-050
【323】	2	p. 411	睡眠薬中毒は呼吸中枢を抑制して低換気による低酸素血症をきたす		46-A-047
【324】	2	p. 411	間質性肺炎は酸素の拡散障害による低酸素血症をきたす		44-A-053
【325】	2	p. 412	高二酸化炭素血症の原因	必修	45-B-019
【326】	1	p. 413	換気機能障害の3型について		43-A-048
【327】	4	p. 413	心拍出量の低下は心不全を起こす代表的な病態である	重要	46-A-049
【328】	5	p. 414	心不全傷病者で肺うっ血でみられる症候	基本	45-A-049
【329】	1	p. 415	左心不全における前負荷の影響とは	基本	43-A-051
【330】	3	p. 415	体循環系のうっ血でみられる症候	必修	43-B-020
【331】	4	p. 416	心不全の病態は循環の3要素と心機能曲線とから考える		45-A-053
【332】	5	p. 417	左心不全は肺うっ血をきたすのでその症候の1つが泡沫状の血痰である	頻出	46-A-054
【333】	2	p. 417	感染の合併は慢性心不全を急性増悪させる	基本	44-A-048
【334】	5	p. 418	治療薬の服薬中断、水分制限不良、気道感染は慢性心不全の急性増悪因子		47-A-047
【335】	2, 4	p. 418	ショックの症候から原因を予想する	基本	43-A-052
【336】	3	p. 419	ショック時には乳酸産生が亢進し血中乳酸値の増加をきたす		47-A-048
【337】	3	p. 419	循環血流量の計算と推定出血量の計算方法		43-A-110
【338】	2	p. 420	大量出血の早期に現れるバイタルサインは頻脈(心拍数増加)である	必修	47-B-019
【339】	3	p. 421	代償反応としてのレニン-アンギオテンシン-アルドステロン系を理解する	重要	44-A-049
【340】	4	p. 421	投与された乳酸リンゲル液の体内分布	必修	43-B-019
【341】	1	p. 422	出血性ショックにおける内分泌系と交感神経系の反応は重要		45-A-051
【342】	1	p. 423	血管透過性の亢進をきたす疾患・病態を知る		45-A-052
【343】	3	p. 424	左心房圧を上昇させる要因を循環の3要素で考えよう	重要	44-A-047
【344】	3	p. 424	心タンポナーデは心臓の拡張が妨げられるので心拍出量・血圧が低下する		47-A-046
【345】	4	p. 425	心タンポナーデと緊張性気胸では頸静脈怒張が特徴である	必修	47-B-026
【346】	3	p. 426	4種類のショックの発症機序と原因を明確にしておく	必修	46-B-019
【347】	3	p. 427	敗血症性ショックの初期は全身血管拡張と心拍出量増大が特徴である		46-A-048
【348】	5	p. 428	アナフィラキシーでは全身性の激しいアレルギー反応が起こる	必修	45-B-020
【349】	1	p. 428	意識と意識障害	やや難問	43-A-049
【350】	2	p. 429	JCSとGCSは意識の明瞭度(覚醒機能の障害の程度)を判定している		46-A-051

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【351】	3	p. 429	高度の低血糖が数時間以上続くと回復不能な脳障害を生じる		46-A-046
【352】	2	p. 430	一次性脳病変と二次性脳病変の症候の違いは正反対	基本	44-A-057
【353】	3	p. 430	頭蓋内圧亢進によるクッシング徴候は国試に必出	必修・頻出	44-B-020
【354】	5	p. 431	頭蓋内圧を上昇させる要因を知ること	基本	44-A-051
【355】	2	p. 432	低換気は頭蓋内圧を上昇させる大きな要因である	必修	47-B-021
【356】	1	p. 433	頭蓋内圧を上昇させる因子を傷病者からできるだけ排除することが望ましい	必修	46-B-021
【357】	1	p. 433	鉤回ヘルニアで出現する徴候を時間経過とともに理解する	頻出	45-A-046
【358】	2	p. 434	鉤回ヘルニアにより最も早期に出現するのが動眼神経麻痺である		47-A-050
【359】	2, 4	p. 435	あえぎ呼吸, 下顎呼吸や死戦期呼吸と呼ばれる呼吸様式は心肺停止を意味する		47-A-049
【360】	4	p. 436	目撃のある心原性心肺停止傷病者の統計(救急蘇生統計)の現況	基本	44-A-050
【361】	3	p. 436	院外心停止の原因で最も多いのは心原性である	必修	46-B-020
【362】	1	p. 437	心肺停止蘇生後の傷病者の日常的・社会的機能をカテゴリー分類する		44-A-054
【363】	2	p. 437	心肺停止傷病者の転帰・予後(生活の質)の評価は1か月後に行われる		46-A-050
【364】	4	p. 438	ウツタイン様式には自己心拍再開後のQOLの評価も含まれる		47-A-054
【365】	3	p. 439	VF/VTを誘発する“危険な不整脈”——3種類の心室期外収縮が重要!	重要	47-A-037
【366】	2	p. 440	無脈性心室頻拍とは心臓のポンプ機能は消失しているので心停止とみなす	必修	47-B-020
【367】	3	p. 440	突然の心室細動による心停止発生直後は脳を含む臓器の酸素化状態は良好である	必修	45-B-021
【368】	1, 5	p. 441	心筋の低酸素状態の経過時間が心拍再開の可能性を低くする		45-A-048
【369】	3	p. 442	心肺停止の原因解除が救急救命士に可能か否かを判断する	必修	44-B-019
【370】	3	p. 442	心肺停止時の体内の酸素化状態は予後を決定する	基本	43-A-053
【371】	1	p. 443	胸骨圧迫中の冠循環と脳循環の理解が重要	頻出	44-A-052
【372】	5	p. 443	心肺蘇生中の冠灌流圧	頻出	43-A-046
【373】	3	p. 444	胸骨圧迫解除時に冠血流は最大となる	基本	45-A-047
【374】	5	p. 444	過去問(45-A-47)の再出題である(選択肢一部変更)		47-A-051
【375】	4	p. 446	頭蓋内に原因があるものは一次性脳病変による意識障害という		46-A-067
【376】	4	p. 446	一次性脳病変とは何か	必修	43-B-021
【377】	2	p. 447	一次性脳病変による意識障害は二次性脳病変によるものと違い病院前……	基本	47-A-063
【378】	1	p. 448	意識障害をきたす疾患とその随伴症状の組合せ問題は国試の定番		45-A-056
【379】	2	p. 449	「救急救命処置の範囲」には具体的にどのような処置があるかを確認する		46-A-064
【380】	5	p. 449	傷病者接触時に特有の臭気に基づけば疾患や中毒物質の予想に有用である	基本	47-A-070
【381】	5	p. 450	三環系・四環系抗うつ薬中毒では心室頻拍など不整脈が出現する	やや難問	45-A-066
【382】	4	p. 450	バイタルサインの観察時に徐脈に気づいた場合には注意が必要		44-A-068
【383】	3	p. 451	体温異常を伴う意識障害の原因		43-A-068
【384】	5	p. 451	脳疾患による失語と精神障害の症候との違い	難問	43-A-087
【385】	3	p. 452	意識障害は意識の明瞭度の障害であり, 判別を要する病態に注意する		45-A-054
【386】	3, 4	p. 452	閉じ込め症候群の意思疎通の方法		43-A-055
【387】	4	p. 452	くも膜下出血が疑われる場合は再出血を予防するため強い刺激は避ける	必修	45-B-022
【388】	2	p. 453	頭蓋内で疼痛を感じるのは硬膜など髄膜と血管である。脳実質には痛覚はない		46-A-058
【389】	3	p. 453	3種類の一次性頭痛の特徴は国試に頻出する	頻出	44-A-056
【390】	2	p. 454	女性に多い片頭痛は特徴ある前兆や症候を呈する		45-A-089
【391】	4	p. 455	突然発症した視力または視野障害は眼痛と眼球の充血の有無で原因疾患…		47-A-062
【392】	5	p. 456	頭痛の発症様式は緊急度判断に重要	頻出	43-A-067
【393】	2or5	p. 456	←解説参照 眼瞼下垂は動眼神経麻痺が原因	難問	44-A-065
【394】	5	p. 457	頭痛を伴う片側性眼痛は緑内障発作の症状の1つである		45-A-072
【395】	2	p. 457	頭痛は頭蓋内圧亢進でのクッシング徴候(血圧上昇・徐脈)に伴伴する	基本	46-A-055
【396】	2	p. 457	緊急度の高い頭痛は突然激しい疼痛が生じるくも膜下出血を見逃さない…		47-A-064
【397】	3	p. 458	痙攣重積では呼吸停止をきたし, 呼吸性・代謝性アシドーシスになる		47-A-068
【398】	3	p. 458	全身性痙攣中の傷病者の病態と徴候		43-A-059
【399】	2	p. 459	全身性痙攣が招く生体反応を考えることで正答は明らかである		45-A-069
【400】	5	p. 459	完全房室ブロックは脳虚血による痙攣を伴う失神発作を起こす	基本	47-A-071

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【401】	2	p. 460	5分以上持続する全身性痙攣は緊急度の高い痙攣重積状態である	必修	44-B-023
【402】	5	p. 460	痙攣重積状態とは痙攣が5分以上あるか、繰り返す発作の間、意識障害が持続…		46-A-065
【403】	3	p. 460	四肢麻痺は脳幹病変または頸髄完全損傷(横断損傷)で出現する	必修	46-B-022
【404】	3	p. 461	交叉性麻痺をきたす病変部位は橋にある	必修・難問	43-B-023
【405】	1	p. 461	脳幹出血(橋出血)は深昏睡・両側縮瞳・四肢麻痺が特徴	必修	44-B-025
【406】	5	p. 461	対麻痺をきたす原因は胸髄または腰髄の病変である	必修	47-B-023
【407】	5	p. 462	選択肢左欄の症候が右欄の疾患(運動麻痺をきたす)に合致するかかを判断する		45-A-061
【408】	4	p. 462	小脳失調は体幹部の動揺(姿勢制御できない)と歩行障害(失調歩行)		44-A-059
【409】	5	p. 462	めまいは末梢性か、中枢性かの判別が大切で、搬送先医療機関が違う	頻出	44-A-063
【410】	3	p. 463	正答は簡単だが選択肢の症候についても学習しよう	頻出	45-A-071
【411】	4	p. 464	めまいが失神の前兆として起こるとき失神性めまいという		46-A-063
【412】	1	p. 465	めまいの原因となる小脳出血	頻出	43-A-064
【413】	4	p. 465	呼吸困難の判別方法	やや難問	43-A-057
【414】	4	p. 466	吸気性喘鳴は上気道狭窄をきたす疾病で出現する	必修	47-B-024
【415】	5	p. 466	呼吸音の異常の種類(喘鳴、ラ音、摩擦音)とその原因疾患は国試に必出	基本	44-A-060
【416】	4	p. 467	奇脈は、たまに国試の選択肢に含まれることがある。発症機序を知ろう		45-A-059
【417】	4	p. 468	呼吸困難はその随伴症候によって緊急度・重症度を判断する		46-A-071
【418】	2	p. 469	補助換気は自発呼吸であっても換気量が低下し低酸素血症の危険がある…		47-A-056
【419】	3	p. 469	咯血の2大原因と搬送時の留意点		43-A-065
【420】	3	p. 470	失神の原因としての薬剤	頻出	43-A-066
【421】	2	p. 470	神経調節性失神は日常の行為や心理的ストレスが誘因となる	必修	43-B-022
【422】	5	p. 471	心血管系疾患や不整脈を原因とする失神は重症度が高く生命にかかわる		46-A-070
【423】	4	p. 471	肺血栓塞栓症による左房への血液還流の減少は失神の原因となる		47-A-060
【424】	1	p. 472	3種類の失神の分類とその原因は国試に頻出する	基本	44-A-072
【425】	2	p. 473	突然死をきたす可能性がある失神は心血管性失神である		45-A-055
【426】	5	p. 474	失神は神経疾患を原因としない一過性意識障害のことをいう	難問	47-A-057
【427】	1	p. 475	神経調節性失神には発症の誘因がある	基本	44-A-055
【428】	5	p. 475	胸痛における痛みの伝導路と疾患の関係	頻出	43-A-063
【429】	3	p. 476	心臓・大血管からの交感神経求心路を介する胸痛は内臓痛である		47-A-065
【430】	5	p. 476	狭心痛の表現は傷病者によってさまざまである	難問	43-A-072
【431】	3	p. 477	急性心筋梗塞と急性大動脈解離による胸痛の特徴は重要!	頻出	45-A-064
【432】	3	p. 477	胸痛の性状を問うことが緊急度の判断に有用である		46-A-056
【433】	1	p. 478	深呼吸で痛みが増すのは胸膜が擦れあうからである		44-A-071
【434】	2	p. 478	胸痛をきたす疾患はそれぞれの特徴的な随伴症候で区別可能である		45-A-065
【435】	4	p. 479	傷病者が訴える胸痛の表現方法から「胸痛の3大疾患」を見逃さないこと		46-A-059
【436】	4	p. 481	胸痛をきたす緊急度・重症度の高い疾患にみられる特徴的症候は……	基本・重要	47-A-059
【437】	5	p. 482	緊急度・重症度が高い胸痛の特徴を知っておく	重要	44-A-066
【438】	5	p. 483	傷病者が示す洞頻脈による脈拍異常の表現		43-A-061
【439】	2	p. 483	動悸を具体的な症状としてとらえると原因疾患が予想できる		45-A-063
【440】	4	p. 484	発作性上室頻拍は国試の定番出題		46-A-068
【441】	5	p. 484	「ときどき、胸がドキンとする」のは期外収縮か2度房室ブロックが原因		47-A-061
【442】	5	p. 485	動悸には消化管出血や心血管系疾患など失神性めまいが随伴する……		47-A-072
【443】	2	p. 486	動悸に伴う失神は心肺停止の原因となる	基本	43-A-062
【444】	4	p. 486	疾患には好発年齢や性差があることを考慮して傷病者のイメージをもつ		44-A-064
【445】	4	p. 487	「女性の下腹部痛」の緊急度判断では卵巣腫瘍捻転を念頭に置く		44-A-075
【446】	5	p. 487	急性心筋梗塞による胸痛は上腹部に放散する		46-A-062
【447】	4	p. 488	腹部疾患では腹部触診による疼痛部位の明確化が疾患を予想させる	必修	46-B-023
【448】	3	p. 489	強い腰部痛は腹部大動脈瘤を疑う		47-A-066
【449】	2	p. 490	腹痛傷病者では既往歴との関連をもつ疾患を念頭に置く	基本	45-A-057
【450】	2	p. 491	黄疸を伴う腹痛は胆道感染症(胆管炎・胆嚢炎)を示唆する		47-A-058

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【451】	4	p. 492	筋性防御は壁側腹膜に炎症が波及していることを示す徴候である	必修	45-B-023
【452】	4	p. 492	心窩部痛は重篤な疾患が隠されていることがあるので随伴症候に注目する		45-A-067
【453】	5	p. 493	筋性防御は腹膜刺激徴候の1つなので緊急手術が可能な医療機関を選定する	必修	47-B-022
【454】	1	p. 493	タール便はトライツ靱帯より口側の上部消化管からの出血を意味する	頻出	44-A-058
【455】	5	p. 494	吐血の発症状況と性状による原因の予測		43-A-056
【456】	3	p. 494	下血の性状から特定の疾患を推定する問題は国試に頻出する	頻出	46-A-057
【457】	1	p. 495	下血傷病者における立ち眩みは隠された循環血流量減少を示す		45-A-068
【458】	2	p. 495	混濁尿は尿路感染症を意味し、腰背部痛と高熱を発するのは緊急度の……		47-A-073
【459】	3	p. 496	背部痛をきたす重大な疾患として急性大動脈解離と急性心筋梗塞が重要		45-A-060
【460】	5	p. 496	移動する胸背部痛は急性大動脈解離の特徴的症候。国試必出	必修	44-B-022
【461】	4	p. 497	体温調節は視床下部の機能の1つ	頻出	47-A-055
【462】	3	p. 497	発熱は病気で出現し、高体温は環境障害や急性中毒で出現する	基本	45-A-070
【463】	4	p. 498	シバリングは感染症の重症化を意味する		43-A-070
【464】	5	p. 498	発熱と高体温には体温調節機能が正常か異常かの違いがある		46-A-072
【465】	4	p. 499	発熱は体温調節中枢による合目的な生体反応。高体温は機能障害が原因		44-A-062
【466】	1	p. 501	ラクナ梗塞は穿通枝に生じた小さな脳梗塞のことで無症状のことも多い		47-A-087
【467】	3	p. 501	脳梗塞に対する血栓溶解療法の適応には時間的制約がある		45-A-097
【468】	2	p. 502	脳出血は危険因子と出血好発部位と部位別症候の特徴が重要	頻出	44-A-074
【469】	3	p. 502	一過性脳虚血発作は意識障害はないが、脳梗塞の前触れ		43-A-093
【470】	2	p. 503	くも膜下出血の疫学、原因、病態、症候はまんべんなく学んでおくのがよい		45-A-058
【471】	1	p. 503	ウイルス性疾患は感冒様の症状が先行することが多いので初発症状は発熱		45-A-077
【472】	3	p. 504	発熱・頭痛・嘔吐・意識障害は脳炎の特徴的症候である		46-A-090
【473】	4	p. 505	脳炎はウイルス性が多い。特に単純ヘルペス脳炎の頻度は高く予後不良		47-A-080
【474】	5	p. 506	ギラン・バレー症候群は特徴的な発症様式がある	頻出	46-A-078
【475】	3	p. 503	てんかんは痙攣の原因の1つ。症候性てんかんは脳疾患が原因		44-A-069
【476】	4	p. 507	中枢神経系の変性疾患ではパーキンソン病とアルツハイマー病が大事		44-A-092
【477】	5	p. 507	パーキンソン病は特徴的な臨床症候を呈する		46-A-073
【478】	2	p. 508	パーキンソン病は中枢神経系の重要な変性疾患である		47-A-077
【479】	2	p. 509	急性喉頭蓋炎は声門付近に強い狭窄を生じ特徴的な症候を呈する	頻出	45-A-096
【480】	4	p. 509	喘息発作の緊急度は心停止が切迫しているか否かで判断する		46-A-086
【481】	2	p. 510	呼気延長は気管支喘息とCOPDの特徴	基本	47-A-040
【482】	4	p. 511	気管支喘息の有病率は増加しているが喘息死は減少している	難問	47-A-095
【483】	5	p. 512	呼気延長は呼出障害をきたす疾患に特有の症候である		46-A-066
【484】	1	p. 513	COPDは特徴的な病態を踏まえて覚えておくべき症候も多い		46-A-080
【485】	4	p. 514	肺炎の発症状況から呼称はさまざまである		43-A-075
【486】	3	p. 514	結核のキーワードは微熱・空気感染・血痰である	頻出	45-A-083
【487】	4	p. 515	自然気胸は痩せた若い男性に生じやすい	必修	45-B-026
【488】	2	p. 515	(緊張性)気胸は陽圧呼吸によって悪化する	重要	46-A-053
【489】	2	p. 516	PaCO ₂ の減少は換気過剰(頻呼吸や過換気)を生じる原因を考える		46-A-045
【490】	4	p. 516	間質性肺炎は年余にわたると肺線維症となり呼吸不全を起こす		47-A-085
【491】	1	p. 517	アテローム性動脈硬化は各種の重篤な疾患の発症に関与している		45-A-082
【492】	5	p. 517	危険性が高い(致死性)不整脈の名称と実際の波形は国試に最重要!	頻出	44-A-097
【493】	3	p. 518	不安定狭心症と急性心筋梗塞との違いを明確にしておくこと		47-A-097
【494】	3	p. 518	容態変化があったら初期評価に戻る		46-A-028
【495】	1	p. 518	心筋炎の原因がウイルス感染にあることは国試に出題するほど重要か?		44-A-078
【496】	4	p. 519	QT延長症候群は薬剤でも発症する		43-A-078
【497】	3	p. 519	心電図の基本波形の電気生理学的意味を理解する	頻出	43-A-083
【498】	3	p. 519	発作性上室頻拍は突然始まり突然消失する頻拍発作が特徴である		46-A-091
【499】	2	p. 520	WPW症候群に特徴的な心電図波形はデルタ波		45-A-092
【500】	3	p. 520	P波とQRS波との関連性やPQ間隔・R-R間隔に着目する		43-A-089

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【501】	2	p. 521	II・III・aVFの3誘導のST上昇は下壁梗塞を示す		47-A-044
【502】	5	p. 521	急性心筋梗塞発症後、心電図パターンは時間経過で変化する		46-A-096
【503】	4	p. 522	合併症として心タンポナーデをきたす疾患	必 修	45-B-025
【504】	3	p. 523	急性大動脈解離による重大な合併症はショックと臓器虚血である		46-A-077
【505】	2	p. 524	肺血栓塞栓症は国試に頻出する疾患	頻 出	43-A-095
【506】	4	p. 524	急性動脈塞栓症の原因で最も多いのは心房細動である		47-A-075
【507】	5	p. 525	動脈触知不良は急性阻血の五徴の1つ		47-A-067
【508】	1	p. 525	救急領域での3種類の食道疾患の発症要因と症候は重要		44-A-087
【509】	4	p. 526	胃・十二指腸潰瘍は発症原因は同じだが、症状の出方が少し異なる	頻 出	44-A-088
【510】	5	p. 526	加熱処理不足の海産魚類の摂取後、数時間で発症。2回目以後は蕁麻疹を伴う		46-A-074
【511】	1	p. 527	絞扼性イレウスの判別方法		43-A-077
【512】	4	p. 527	腸閉塞は腸管内腔の閉塞のこと。イレウスは腸管麻痺のこと		44-A-067
【513】	3, 4	p. 528	急性虫垂炎に特徴的な圧痛部位	基 本	43-A-031
【514】	2	p. 529	下部消化管穿孔の原因は大腸穿孔を考える	基 本	43-A-060
【515】	2	p. 529	門脈圧亢進症は側副血行路として食道静脈瘤・メズサの頭・痔核を形成する		46-A-094
【516】	2	p. 530	肝臓における凝固因子産生の低下により出血傾向が出現する	難 問	47-A-076
【517】	4	p. 531	肝硬変による門脈圧亢進症の発症機序とその症候		45-A-087
【518】	2	p. 531	胆石症は国試に頻出する疾患。すべてを覚える	頻 出	43-A-092
【519】	5	p. 532	急性膵炎の原因と症候の特徴は必須の知識	基 本	44-A-061
【520】	2	p. 532	補助腎臓療法は2種類ある		43-A-085
【521】	3	p. 532	尿管結石は疝痛と観察所見で推定できる		43-A-071
【522】	2	p. 533	尿管結石といえば血尿、血尿といえばまず尿管結石	基 本	44-A-093
【523】	1	p. 533	性器クラミジア感染症はわが国で最も多い性感染症である		45-A-093
【524】	4	p. 534	クラミジアなどの逆行性感染による骨盤膜炎は若年女性の下腹部痛をきたす		46-A-082
【525】	3	p. 534	精巣捻転症は思春期男性の早朝睡眠中に突然発症する		47-A-079
【526】	3	p. 535	1型糖尿病と2型糖尿病の対比は重要であるのでよく理解しておく	基 本	47-A-084
【527】	5	p. 536	1型糖尿病と2型糖尿病との違いは重要である。国試に頻出！	頻出・重要	44-A-090
【528】	5	p. 536	ホルモンはそれに対する受容体をもつ標的臓器に作用して効果を発揮する		45-A-079
【529】	3	p. 537	糖尿病治療中の傷病者は高血糖より低血糖の危険が高い	必 修	46-B-026
【530】	5	p. 537	低血糖では血糖値レベルに応じて段階的に症候が現れる		46-A-089
【531】	1	p. 538	高浸透圧高血糖症候群の特徴		43-A-076
【532】	2, 4	p. 538	←解説参照 嘔吐は胃酸の喪失にほかならず代謝性アルカローシスを起こす		44-A-080
【533】	4	p. 539	アルカローシスとなる病態	基 本	43-A-013
【534】	4	p. 539	痛風と腎障害について		43-A-080
【535】	3	p. 540	ビタミンとその欠乏症は一部を除けば暗記するしかないか？		45-A-076
【536】	3	p. 541	出血性素因は血管壁異常・血小板数減少・凝固因子欠乏・線溶系亢進が原因		46-A-085
【537】	4, 5	p. 542	血液酸素含有量はヘモグロビン濃度と酸素飽和度で決定される		43-A-081
【538】	5	p. 542	貧血があるとチアノーゼは出現しにくい		47-A-074
【539】	5	p. 543	貧血の症状は酸素供給量の減少と代償反応の2つの機序で生じる	必 修	43-B-024
【540】	3	p. 543	貧血は血液希釈による症状と代償機転による症候が混在する	必 修	44-B-026
【541】	4	p. 543	息切れは貧血による酸素供給量低下に対する呼吸性代償機序による症候		45-A-094
【542】	4, 5	p. 544	アナフィラキシーの発症誘因と病態、症候は重要	重 要	43-A-091
【543】	5	p. 544	アナフィラキシーの発症機序、症候の特徴は国試に頻出	頻 出	44-A-095
【544】	5	p. 545	アナフィラキシーはアレルギーとしての症候を伴う	必 修	44-B-021
【545】	3	p. 545	アナフィラキシーでは生理活性物質の作用で全身皮膚が紅潮する	必 修	47-B-025
【546】	3	p. 546	吸気性喘鳴は上気道狭窄を示すのでアナフィラキシーでの緊急度が高い		47-A-078
【547】	5	p. 546	エピベン®使用の適応となる症候を見逃すな。注射を躊躇すべきではない		45-A-095
【548】	5	p. 547	椎間板ヘルニアの症候は左右片側に起こる		44-A-082
【549】	4	p. 547	腰椎椎間板ヘルニアは急性腰痛症との区別が重要である		45-A-074
【550】	5	p. 548	間欠性跛行は腰部脊柱管狭窄症と閉塞性動脈硬化症の特徴的症候		46-A-061

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【551】	5	p. 548	化膿性と書かれた病名はすべて細菌感染によるもの		43-A-094
【552】	5	p. 549	国試に出題される可能性が高い関節炎である	頻 出	45-A-080
【553】	2, 5	p. 549	化膿性膝関節炎は単独で出題されることが多い		46-A-079
【554】	3	p. 550	筋疾患のなかでは重症筋無力症と横紋筋融解症が国試に出題される		47-A-088
【555】	5	p. 551	損傷による皮膚欠損は続発疹としての表皮剥離・びらん・潰瘍・瘢痕を形成する		46-A-088
【556】	2	p. 551	皮疹は原発疹と続発疹とに分けられる	基 本	45-A-078
【557】	2	p. 552	視交差中央部の障害は両耳側半盲を生じる		47-A-090
【558】	4	p. 553	突然発症の視覚障害は眼痛を伴うか否かが判別に重要	頻 出	43-A-096
【559】	1	p. 553	感染症法における感染症の分類は重要である		47-A-089
【560】	5	p. 554	五類感染症は定点把握感染症として流行状況など動向調査が行われる		44-A-076
【561】	5	p. 554	世界的感染拡大(パンデミック)をきたす要因はヒトである		43-A-088
【562】	4	p. 555	潜伏期間(食後～発症までの時間)が最も短いのは黄色ブドウ球菌である		47-A-069
【563】	2	p. 555	食中毒は、毒素型と感染型で病原菌が違う	頻 出	44-A-081
【564】	2	p. 556	デング熱は熱帯・亜熱帯地方に生息する蚊が媒介するウイルス感染症である		46-A-097
【565】	5	p. 556	コロナウイルスによる感染症にはCOVID-19だけでなくMERSもある	やや難問	45-A-086
【566】	4	p. 557	水痘は種々の相の皮疹が混在することが特徴である		46-A-031
【567】	2	p. 558	破傷風は日常生活に潜む重症感染症であり汚染創の創処置と予防が重要		46-A-083
【568】	3	p. 559	中枢神経系は生後から急速に発育・成長し10歳前後でほぼ成人に近くなる		46-A-093
【569】	1	p. 559	血圧は6歳前後で成人と同様になるといわれている	必 修	46-B-024
【570】	5	p. 560	小児の成長に伴う形態と機能の変化は過去問を参考にして覚える		47-A-094
【571】	2	p. 561	小児期の年齢に応じた分類と、観察に際してバイタルサインの正常目安を知る		45-A-075
【572】	2	p. 561	心拍数は加齢とともに減少する		47-A-083
【573】	4	p. 562	強く激しく泣く乳幼児は一般状態がほぼ保たれていると判断する	必 修	45-B-024
【574】	3	p. 562	乳幼児JCSによる評価を覚えるには実際の現場での状況を想像することがよい		46-A-075
【575】	4	p. 563	単純型熱性痙攣と複雑型熱性痙攣の違い		43-A-090
【576】	5	p. 563	熱性痙攣は単純型と複雑型を対比させて記憶すると理解しやすい		46-A-060
【577】	5	p. 564	小児の細菌性およびウイルス性髄膜炎は国試によく出題される		44-A-085
【578】	3	p. 564	細菌性髄膜炎は肺炎球菌とHib菌による血行感染が多い		45-A-088
【579】	1	p. 564	小児の急性喉頭蓋炎は緊急度が高く、重要疾患。国試に必出	必 修	44-B-024
【580】	2	p. 565	腸重積の発症年齢・症候の特徴・予後について	必修・頻出	43-B-026
【581】	1	p. 565	突発性発疹は生後6か月～1歳児が罹る突然の高熱と解熱後の赤い発疹が特徴		45-A-091
【582】	5	p. 566	突発性発疹は生後6か月以後に発症する高熱と解熱後の発疹が特徴		46-A-076
【583】	4	p. 566	SIDSの疫学的知識を理解する		43-A-086
【584】	2	p. 567	SIDSの発症要因は疫学的事実に基づいている		44-A-089
【585】	3	p. 567	被虐待児症候群の疫学的知識は重要	重 要	43-A-084
【586】	3	p. 567	高齢者搬送が増えているので加齢に伴う身体機能の変化は国試に出題される		44-A-077
【587】	5	p. 568	加齢に伴い基礎疾患保有率は高くなる	必 修	46-B-025
【588】	1	p. 568	高齢者への虐待は社会問題化しているので、実態を知る必要がある		45-A-085
【589】	2	p. 569	高齢者への虐待で多いのは身体的虐待である		47-A-092
【590】	3	p. 569	認知症には中核症状と行動と心理症状とがある		43-A-097
【591】	3	p. 569	認知症の中核症状は4つある	必 修	43-B-025
【592】	2	p. 570	認知症の症状を、中核症状、行動症状、心理症状の3つに分ける……	難 問	47-A-081
【593】	3	p. 571	高齢者特有の疾患には誘因がある		43-A-082
【594】	3	p. 571	妊娠週数と胎児体重の目安、分娩予定日の計算など		44-A-083
【595】	2	p. 572	分娩予定日の概算方法		43-A-074
【596】	4	p. 572	妊娠は肺血栓塞栓症の誘因になる		47-A-093
【597】	3	p. 573	妊娠初期から中期で出血性ショックの危険がある病態を把握する		46-A-084
【598】	5	p. 574	妊娠後期の妊婦の腹部外傷では胎盤剥離が発症しやすい	基 本	47-A-091
【599】	2	p. 575	妊娠後期での血圧の上昇は妊娠高血圧症候群の危険がある		47-A-086
【600】	5	p. 575	常位胎盤早期剥離は胎児と母体両方に生命の危険を及ぼす		45-A-084

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【601】	4	p. 576	分娩第1期・第2期・第3期の定義をしっかりと把握すること		46-A-095
【602】	5	p. 576	分娩直後の子宮収縮が不良であると持続的大量出血が起こり弛緩出血と呼ぶ		45-A-073
【603】	2	p. 577	分娩中に起こる呼吸困難と意識障害は重篤なサイン		43-A-073
【604】	2	p. 578	娩出直後に啼泣を認めない新生児への対応で優先すべきことは？	基本	44-A-036
【605】	1	p. 579	精神障害を正しく分類できないと正答できない	難問	44-A-096
【606】	2	p. 580	昏迷は精神障害による意思発動性の障害であり意識障害ではない		45-A-081
【607】	2	p. 581	興奮した傷病者を鎮めるための対応	基本	43-A-079
【608】	4	p. 582	自殺企図の傷病者に対しては十分な知識をもって対応する必要がある		46-A-081
【609】	5	p. 583	自殺企図が疑われる傷病者へのコミュニケーションの要点	基本	44-A-094
【610】	3	p. 583	自傷行為(自殺企図)傷病者への対応に「TALK」の原則がある		47-A-082
【611】	3	p. 584	アルコール関連障害の用語と特徴を理解する		46-A-087
【612】	2	p. 585	パニック発作は短時間で軽快し、身体的異常はない		45-A-090
【613】	5	p. 585	解離性障害の傷病者にみられる特徴		43-A-058
【614】	5	p. 587	搬送人員の最も多い外傷の事故種別は？	基本	44-A-112
【615】	3	p. 587	早期外傷死は「防ぎえた死」の大多数を占める		44-A-103
【616】	3	p. 588	外傷傷病者の死亡時期は3段階あり、多臓器不全は晩期死亡の原因の1つ		47-A-112
【617】	5	p. 589	開放性気胸はロードアンドゴーの適応である	必修	45-B-028
【618】	2	p. 590	トラウマバイパスは防ぎえた外傷死を減らすための“搬送戦略”である		47-A-105
【619】	3	p. 590	高リスク受傷機転が疑われたら「ロードアンドゴー」を念頭に置く	必修	44-B-027
【620】	4	p. 591	間接的外力による脳損傷は角加速度機序(剪断力)による		45-A-098
【621】	3	p. 592	多発外傷の定義を明確にしておく		43-A-101
【622】	3	p. 592	創と傷とを使い分ける	基本	44-A-104
【623】	3	p. 593	損傷形態による分類と創傷の名称	基本	45-A-111
【624】	4	p. 593	銃創では空洞化現象により射入口よりも射出口のほうが損傷が大きい		46-A-114
【625】	3	p. 594	杖創は先端が鈍な棒状物による貫通創のこと	必修	47-B-028
【626】	4	p. 594	特殊な受傷機転と損傷臓器の関連	頻出	43-A-112
【627】	1, 5	p. 595	ハンドル外傷は上腹部にある臓器損傷をきたす。解剖学的知識が重要		45-A-105
【628】	1	p. 595	爆発の第1段階は圧力波によって生じる鼓膜破裂や肺破裂である		46-A-106
【629】	5	p. 596	生体侵襲時の代償反応にかかわるストレスホルモンと昇圧系	重要	43-A-113
【630】	4	p. 597	病院前医療で外傷死の三徴を防ぐ唯一の手段は低体温にさせないこと		44-A-101
【631】	5	p. 598	大量輸液は「外傷死の三徴」の原因の1つである血液凝固障害を招く		47-A-114
【632】	3	p. 599	ショック→不可逆性ショック→外傷死の三徴→急性期死亡		45-A-108
【633】	1	p. 599	創傷治癒促進のために創傷周囲の湿潤を保つことが推奨される	必修	45-B-027
【634】	3	p. 600	出血性ショックの早期臨床徴候は脈圧の減少として現れる		46-A-105
【635】	1	p. 600	大量出血に対する代償反応によって脳・心への血流再配分(血流の……	基本	47-A-101
【636】	4	p. 601	心外閉塞・拘束性ショックの原因は3つある	必修	43-B-029
【637】	2, 3	p. 601	緊張性気胸と心タンポナーデは常にその存在を心に留め置くこと	基本	44-A-102
【638】	5	p. 602	脊髄損傷では血管運動性交感神経の緊張低下がショックの原因である		45-A-101
【639】	3	p. 602	安全確認は傷病者接触前の状況評価で行う	必修	46-B-028
【640】	5	p. 603	状況評価は事故覚知から傷病者接触までに行う評価	必修	44-B-029
【641】	1	p. 603	初期評価の段階で気道に異常があれば直ちに気道確保を行う		46-A-108
【642】	5	p. 604	外傷によるショックの原因で最も多いのは出血性ショックである	必修	47-B-011
【643】	4	p. 604	緊張性気胸の症候は発症機序を理解すれば必ずと明確になる	必修	46-B-029
【644】	5	p. 605	重症外傷傷病者に対する初期評価および全身観察の手順の理解	基本	44-A-111
【645】	1, 2	p. 605	フレイルチェストに対しては①胸壁固定と②補助換気が重要な処置である		47-A-099
【646】	4, 5	p. 606	外傷傷病者に対する現場での対応と処置	頻出	45-A-104
【647】	3	p. 606	胸壁の皮下気腫が認められたらロードアンドゴーの適応である		46-A-112
【648】	3	p. 607	硬膜の破綻の有無が開放性と閉鎖性脳損傷の区別をする		44-A-108
【649】	5	p. 607	PETCO ₂ (PaCO ₂)値は高くても低くても二次性脳損傷を増悪させる…		46-A-101
【650】	1	p. 608	高次脳機能障害は認知機能障害を呈する		45-A-103

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【651】	4	p. 608	慢性硬膜下血腫は高齢者、常習性飲酒者、抗凝固療法中の傷病者に多い		46-A-102
【652】	1	p. 609	頭皮外傷で骨結合を超えない血腫は骨膜下血腫である		47-A-102
【653】	2	p. 609	急性硬膜外血腫の特徴は意識清明期があることである		43-A-100
【654】	5	p. 609	びまん性脳損傷の要約		43-A-109
【655】	5	p. 610	失調性呼吸は脳幹の呼吸中枢の障害により生じる		47-A-108
【656】	2	p. 610	鼻骨骨折は顔面骨骨折のなかで最も多い		44-A-105
【657】	4	p. 610	頭蓋底骨折によるパンダの眼徴候は数時間後に出現する	必修	47-B-027
【658】	1	p. 611	眼窩吹き抜け損傷による眼症状は重要で、国試に頻出する	頻出	43-A-106
【659】	2	p. 611	強い回旋外力によって頸椎では椎間関節脱臼が生じやすい	やや難問	45-A-109
【660】	5	p. 612	頸髄完全損傷では呼吸筋麻痺・脊髄ショック・神経原性ショックと持続陰茎勃起が…		46-A-100
【661】	5	p. 613	損傷された頸髄髄節のレベルと上肢運動機能障害の関係	やや難問	43-A-069
【662】	4	p. 613	胸部外傷には多数の損傷形態があるのでそれぞれの詳細な知識をもつ		44-A-114
【663】	4	p. 614	心タンポナーデの症候は国試に頻出する	頻出	43-A-104
【664】	2	p. 614	触診により明らかになる嚙音は肋骨骨折の存在を示している		47-A-103
【665】	2	p. 615	胸部外傷は損傷臓器特有の病態と症候をもつ。組合せ問題は容易である		45-A-110
【666】	4	p. 615	腹部臓器損傷による病態		43-A-114
【667】	4	p. 616	腎臓損傷は後腹膜腔に巨大な血腫を形成する		45-A-106
【668】	1	p. 616	外傷後に出現する血液分布異常性ショックは大腸損傷(…略…)を疑う		43-A-108
【669】	4	p. 616	鈍的腹部外傷では小腸損傷が多い		47-A-098
【670】	3	p. 617	実際の傷病者の観察手順と方法を想定して訓練を重ねるしかない	基本	44-A-099
【671】	4	p. 617	骨盤骨折は安定型と不安定型の見極めが重要。現場での対応が違う	重要	44-A-107
【672】	5	p. 618	不安定型骨盤骨折は大出血を起こすので出題頻度が高い	頻出	43-A-103
【673】	5	p. 618	垂直剪断型骨盤骨折は最重症の不安定型骨盤骨折である		47-A-104
【674】	4	p. 619	骨盤骨折の現場処置と搬送の留意点は国試に頻出する	頻出	43-A-105
【675】	4	p. 619	骨盤固定具の装着部位の目安は左右の大転子の高さである		45-A-099
【676】	5	p. 620	骨盤骨折が疑われる傷病者にはフラットリフトやログリフトを用いる		46-A-111
【677】	1	p. 620	両膝を内旋位にすることで骨盤容量が減少し骨盤固定の効果が増す		46-A-035
【678】	3	p. 621	一側の大腿骨骨折で1,000～2,000mLに及ぶ内出血をきたす		46-A-103
【679】	2, 4	p. 621	コンパートメント症候群は発症からの症候に時間的順序がある	重要	44-A-106
【680】	3	p. 622	デグローピングをきたすのは皮下組織と筋膜との間である		47-A-107
【681】	5	p. 622	四肢外傷の救急現場での処置は国試に頻出する	頻出	43-A-099
【682】	3	p. 622	小児外傷では気道開存の確認と損傷されやすい臓器・頻度の高い骨折を知っておくこと		45-A-102
【683】	4	p. 623	肘内障は2～6歳児に好発する橈骨頭の亜脱臼であり容易に整復できる		46-A-109
【684】	2	p. 623	上腕骨遠位端骨折(頸上骨折)は緊急度が高い		47-A-109
【685】	5	p. 623	乳幼児揺さぶられ症候群は角加速度機序による脳損傷の典型		44-A-098
【686】	1, 5	p. 624	高齢者の外傷は搬送頻度が高いのでその特徴をとらえておく	頻出	43-A-102
【687】	4	p. 624	高齢者は転倒など軽微な外力で骨折しやすく、好発部がある		46-A-107
【688】	5	p. 625	高齢者の骨折は骨粗鬆症が基盤になっている。好発骨折がある	基本	44-A-113
【689】	4	p. 625	妊娠後期の増大した子宮への圧迫だけではなく循環動態への影響も大きい		45-A-107
【690】	2	p. 626	妊娠後期の妊婦は仰臥位にさせずに全体を左側に傾むけて搬送する	基本	47-A-110
【691】	3	p. 626	一見してⅢ度熱傷と判断できる		45-A-113
【692】	4	p. 626	熱傷の重症度を表す数値的指標に熱傷指数と熱傷予後指数がある	必修	44-B-028
【693】	1	p. 627	顔面熱傷は熱傷深度、熱傷面積にかかわらず「重症」である	必修	45-B-029
【694】	3	p. 627	浅達性と深達性に共通するのは「水疱形成」である	必修	46-B-027
【695】	2	p. 628	熱傷指数はⅡ度熱傷面積×1/2+Ⅲ度熱傷面積	基本	47-A-106
【696】	3	p. 628	一側下肢全体のⅢ度熱傷では9の法則による熱傷面積は18%	必修	47-B-029
【697】	3	p. 628	皮膚徴候によって熱傷の到達深度を推定する	必修	43-B-028
【698】	2	p. 629	熱傷の重症度の判断に熱傷面積の算出は必須		43-A-098
【699】	2	p. 629	9の法則による熱傷面積の計算は救急救命士必須の知識	基本	44-A-100
【700】	4	p. 630	乳児熱傷では熱傷面積の算定は「5の法則」を用いるのがわかりやすい		46-A-113

No.	正 答	解説頁	解説の要点	設問の分類	国試設問番号
【701】	4	p. 631	II度以上の熱傷で緊急度が高いと判断される部位は？	基本	44-A-110
【702】	5	p. 632	5つの観点(①気道管理, ②局所処置, ③保温, ④輸液, ⑤医療機関選定)を踏ま…		45-A-112
【703】	4	p. 633	酸やアルカリによる化学損傷は対比して覚えるとよい		46-A-104
【704】	5	p. 634	強酸による化学損傷とフッ化水素酸の特殊性		43-A-111
【705】	3	p. 634	フッ化水素酸は皮膚粘膜から吸収され低カルシウム血症をきたす	頻出	45-A-100
【706】	1	p. 635	アルカリによる化学損傷の処置は汚染除去と大量の流水による洗浄	基本	44-A-109
【707】	1	p. 635	化学損傷では乾式除染と湿式除染を行う		47-A-113
【708】	2	p. 636	通常の熱傷と違い、電撃傷では四肢屈側面の損傷をきたすことが特徴		47-A-100
【709】	5	p. 637	絞頸(扼頸)と縊頸では受傷機転を考慮すれば容易に所見を区別できる		47-A-111
【710】	5	p. 637	定型的縊頸の特徴をよく理解し非定型的縊頸や絞頸(扼頸)と区別で…		46-A-110
【711】	1	p. 638	動物咬傷の特徴を覚える		43-A-107
【712】	5	p. 638	マムシ咬症はコンパートメント症候群と出血毒による筋壊死を生じる		45-A-114
【713】	5	p. 639	日本中毒情報センターへの問い合わせが最も多いのはたばこ関連品である		45-A-117
【714】	5	p. 640	中毒死の約75%が一酸化炭素中毒による		47-A-118
【715】	5	p. 640	薬物中毒についての総論的な知識を問う設問である		46-A-116
【716】	2	p. 642	毒物・薬物の投与経路による血中濃度の違い		43-A-119
【717】	3	p. 642	頻出する中毒物質はその特徴的な症候を熟知する	頻出	44-A-117
【718】	1	p. 643	三環系抗うつ薬による心停止原因は心筋毒性による致死的不整脈の発生である		46-A-052
【719】	1	p. 643	ある種の中毒には特異的な拮抗薬がある		45-A-119
【720】	1	p. 644	ガス中毒は二次汚染に注意	必修	44-B-030
【721】	1	p. 644	塩素ガスと硫化水素は家庭での誤った使用で発生する危険がある		44-A-120
【722】	2	p. 645	急性エタノール中毒の症候はその血中濃度で決定される	必修	43-B-030
【723】	2	p. 645	フグの毒(テトロドキシン)は肝臓・卵巣に含まれている		47-A-116
【724】	1	p. 646	覚醒剤は交感神経興奮作用がある	必修	46-B-030
【725】	1	p. 646	散瞳をきたす代表的な中毒原因物質は覚醒剤とコカインである	必修	47-B-030
【726】	5	p. 647	コカインの規制法律		43-A-045
【727】	5	p. 648	気道異物による窒息では気道の完全閉塞の症候を見逃してはならない		46-A-119
【728】	5	p. 648	気管の閉塞と気管支の閉塞とは症候がまったく異なる		44-A-115
【729】	4	p. 649	溺水について知っておくべき知識が選択肢によって試されている		46-A-115
【730】	2	p. 649	潜水反射の意味と臓器保護としての役割		43-A-117
【731】	4	p. 650	潜水反射は冷水への浸漬・浸水で生じ、高度徐脈と末梢血管収縮が同時に起…		45-A-120
【732】	3, 4	p. 650	高齢者に生じる熱中症の特徴		43-A-120
【733】	2	p. 650	III度熱中症の症候による判定は国試に頻出するので最重要である		46-A-120
【734】	1	p. 651	中枢神経障害を認める場合はIII度熱中症と判断する	必修	45-B-030
【735】	1	p. 651	めまいは他に中枢神経症状がなければI度熱中症と判断してよい	基本	47-A-115
【736】	4	p. 652	WBGT28℃を境に警戒と嚴重警戒に分かれる		45-A-118
【737】	—	p. 652	不適切な出題		44-A-116
【738】	2	p. 653	偶発性低体温症による意識障害・徐呼吸・徐脈を心肺停止と誤判断するな！		47-A-117
【739】	4	p. 654	β線は紙を透過するがアルミニウムなどの薄い板は透過しない	基本	44-A-119
【740】	5	p. 654	致死的な被ばく放射線量	基本	43-A-115
【741】	2	p. 654	放射線の晩発障害には白内障、悪性腫瘍(白血病など)がある	基本	44-A-044
【742】	2	p. 655	放射線による障害のうち発癌(白血病など)は確率的影響として分類される		47-A-045
【743】	3, 4	p. 655	放射線による確定的影響を防ぐために「放射線防護三原則」がある		45-A-115
【744】	4	p. 656	アラーム付き個人線量計は積算線量をリアルタイムに表示できる		46-A-118
【745】	3	p. 656	放射線事故現場の区域管理の目的・設定基準・留意点		47-A-120
【746】	5	p. 657	脳浮腫と肺水腫の出現は重症高山病で出現する		43-A-118
【747】	3	p. 657	水面への急速浮上で起こる減圧症と動脈ガス塞栓症とを区別する		44-A-118
【748】	3	p. 658	凍傷の深度分類は加温後の所見と2~3週間後の状態によって判定する		46-A-117
【749】	5	p. 659	凍傷部位への処置では慎重な再温暖化と適切な保護に留意する		47-A-119
【750】	1	p. 659	紫外線は角膜炎・結膜炎などの眼傷害を引き起こす		45-A-116